

東京武蔵野多摩ワイズメンズクラブ

東京YMCA西東京センター内 〒186-0002東京都国立市東1-4-20-102

TEL 042-577-6181 FAX 042-577-5574

【2017～2018主題】

国際会長 ヘンリー・J・グリーンハイム 「Let us all Walk in the Light-Together」
アジア地域会長 Tung Ming Hsiao 「Respect Y's Movement」
東日本区理事 栗本 治郎 「広げよう ワイズの仲間」
あずさ部長 大野 貞次 「継続は力なり・一歩でも前に・そしてあがこう」
東京武蔵野多摩会長 板村 哲也 「変化」

【クラブ役員】

会長 板村哲也
副会長 大輪匡史
宮内友弥
会計 山口直樹
書記 麻生由美子

2017年 8月の聖句

あなたがたの内に働いて、御心のままに望ませ、行わせておられるのは神であるからです。
(フィリピの信徒への手紙 2章13節)

ワイズメンズクラブモットー

強い義務感をもとう 義務は全ての権利を伴う

五つの誓い

1. 自分を愛するように隣人を愛そう
1. 青少年のためにYMCAに尽くそう
1. 世界的視野をもって国際親善を図ろう
1. 義務を果たしてこそ権利が生ずる事を悟ろう
1. 会合には出席第一、社会には奉仕第一を旨としよう

ワイズメンズクラブの目的

1. 個人的にもまたクラブとしても、その奉仕活動を通じてYMCAの活動を支援する
2. ワイズメンにふさわしい他の団体を支援する
3. 地域社会や国際的な問題に関心を持ち、一党一派に偏らない正義を追求する
4. 宗教・社会・経済・国際などの諸問題について会員達を啓発し、積極的に参加させる
5. 健全な交友関係を作り出す

8月例会プログラム

強調月間：CS

日時：7月29日(土) 12:00～

場所：こひつじ幼稚園

司会：山口 受付：渡辺

- * 8月例会は、長野県の下村で松本クラブとの合同例会です。
- * 開会点鐘：正木会長（松本クラブ）
- * ワイズソング
- * 聖句朗読（塩原牧師）
- * 昼食
- * メンバー自己紹介
- * ハッピーバースデー
- * 閉会点鐘：板村会長

7月例会報告

在籍者	12名
出席者	9名
メーキャップ	1名
出席率	83%
ゲスト	0名
ビジター	0名
ネット・コネット	0名
にこにこ	0円

EMCを考える

宮内 友弥

本年度の栗本理事の主題は、EMC。東日本区では各部にエクステンション委員会を立ち上げ、各クラブでも今まで以上に何とかしなければとの機運が盛り上がっている。国際では、ワイズ100周年に当たる2022年に100カ国、50,000人に拡大しようと大きな目標を掲げている。そんな最中、先に行われた第27回アジア太平洋地域大会にて、ワイズにとって永遠の課題とも言えるこのEMCに関連する二つの場面に遭遇した。

一つは、2年前に当クラブがスポンサーとなりチャーターしたモンゴルウランバートルクラブ(UBC)の現状と問題点。別項に記載したようにUBCから参加のMr. Tseepei Khurelbaatarから説明を受け、8名にまで会員が減少した最大の理由は会員の多くが、現役の起業家でワイズから自分の事業に対してなんらかのメリットを享受できることを期待しすぎたこと。これに 대응するためには、スポンサークラブとしても例えば対日輸出の販路を探してあげる等のサポートが必要である。新しいクラブを育てていくためには、それぞれのクラブの事情に添った柔軟な対応が求められることを改めて実感させられた。

二つ目は、大会2日目に行われたForums' Discussion(分科会)。EMC/Yサ/CS/環境/メネットの5分科会に別れ、小生はEMCにパネリストとして参加。現在のワイズの一番の関心事であるはずのこの分科会に多くの参加が期待されたが蓋を開けてみると参加者は20名足らずで全くの拍子抜けであった。正に笛吹けど踊らずで、ワイズの将来に一抹の不安を感じた。

とは言えやれることからやらなければならない。UBCの会員増スポンサークラブの一員としてサポートすると共に、昨年当クラブ内で進めている「Y'sの在り方を考える(発展に向けて)」の議論を深め、知恵を絞って率先してEMC活動を推進したいものです。

2017年7月第1例会 記録

1. 日 時：2017年7月12日（水）19:00～21:00

2. 場所：東京Y M C A西東京コミュニティーセンター

3. 役割分担

司会：伊佐 受付：野尻、大輪 記録：宮内

4. 出席

伊佐、江夏、大輪、鈴木、野尻、宮内、山口、出沼、板村。（9名）

5. 開催方法について

今年度は、第一例会の開催方法を若干変更することが昨年度中に決定されており、今月の例会では開会時に聖句朗読と祈祷は行わず、点鐘とワイズソングのみで開催した。食前の感謝は各自それぞれの胸の内で行った。また、今回は初年度第1回目の例会であることより、卓話に代え、新会長が所信表明を行う場とした。その他の内容は下記の通りで、セレモニーの多い例会となった。

6. 議事他：

（1）会長引継：新旧会長バッジ交換

（2）江夏さん転入会式（進行・司式：板村、宮内、山口）

（3）夕食

（4）会長所信表明（板村）：会長所信への感想及び今後のワイズのあり方について熱の込められた意見を交換。

（5）AYC参加の廣瀬氏への支援金贈呈式

（6）2016－2017年度会計決算報告：事前に新旧会長に提出した資料に基づき報告。

別途清水監事に監査報告書を作成して貰うこととする。

（7）6月第二例会以降の出来事：時間無きため詳細は、第2例会に持ち越し。

・東京Y M C A芸術祭（6月30日）

・健康増進カフェくにたち（7月8日）

・会員の異動（7月1日現在）

・第22回東日本区大会（2019年6月）準備（7月1日）

（8）今後の予定

・あずさ部評議会（7月15日、12:30～）

・笠利さんお別れ会（7月15日、10:00～）

・東京Y M C A午餐会（7月20日（木）、12:00～13:30 @東京大学Y M C A、講話：山田公平氏）

・西東京フェスティバル打ち合わせ（7月20日、19:00～20:30）

・アジア大会（7月21日～23日）

・7月第二例会（7月26日）

・原村例会（7月29日～30日）

・ブリテン8月号

・東京Y M C A夏祭り（8月26日、11:30～15:30）

・9月第一例会（9月13日）

・I B C訪日スケジュール（2018年4月）

（9）その他

・I B C訪日スケジュール:1週間ずらして2018.4.13-15とする。滞在中のプログラムは別途検討する。

以上

（記録：宮内友弥）

東京YMCA会員芸術祭受付

山口 直樹

今年も6月26日から7月1日まで、東京YMCA会員芸術祭が東陽町センター1階で開催され、受付ボランティアとして板村ワイズと山口の二人で奉仕をした。6月30日の午後、3時間の担当であったが、受付自体は混み合うこともなく、また難しい手続きもなく無事に終わることができた。

いつも思うことであるが、私に全く才能がないのでなおさらであるが、出展されている会員の方たち(ワイズの方が中心)の作品の素晴らしさには驚かされる。素晴らしい。

また、同時期に東陽町センターのロビーでは、室内プール100年のパネル展示もされていた。そちらも興味を持って見させていただいき、YMCAの幅の広さを改めて感じたところであった。そのことを現在と未来へどのようにつないでいくのか、改めて考えた時間でもあった。

アジア太平洋地域大会 (APAC) に参加して

宮内 友弥

第27回アジア太平洋地域大会は、7月21日から3日間タイのチェンマイ(タイ北部の古都)で開催された。初日の7月21日は13時からのオープニングセレモニー、基調講演に続き直前会長主催の夕食会、2日目は午前中5つの分科会があり(宮内はEMC分科会のパネリストとして参加)、午後エクスカーションが組まれ5コースからそれぞれが希望のコースでツアーを楽しんだ。最終日はAYC(西東京センター廣瀬さんが参加)、各分科会の報告等続き閉会式があり大会の幕を閉じた。今回の大会で特筆すべきは、モンゴルウランバートルクラブ(UBC)からの参加者とスポンサークラブとして今後の支援体制につき話し合いが出来た事である。大会直前にUBCからUBCを代表してMr.Tseepei Khurelbaatar(愛称Hurelee)が参加する旨の連絡を受け、共同スポンサーである香港Tsim Sha Tsuiクラブ(Rose、Ng Frederic、Andy Fuの3名が参加)、当クラブ(山田さん、宮内に加え一昨年の訪問ツアーでお世話になった仙台青葉城クラブの加藤さん)及びPIP Wichianも加わって、大会の合間を縫ってHureleeさんと協議の場を持ち、会員減少に悩むUBCの現状と問題点を聞き、今後の支援策を協議した。今後は、山田さんを取りまとめ役として関係者間で情報を共有し具体的な支援策を取り進める事となった。(UBCは会員が減少しているものの、モンゴルYMCAとともに新オフィスに移転し、コーヒーショップの運営や孤児院を立ち上げ前向きに活動している。支援策の手始めにUBC訪問応援ツアーを再開したい。)

尚大会に先立ち7月21日午前中にアジア太平洋地域議会が開催され、次回第28回アジア太平洋地域大会が次の通り仙台で開催される事が決まった。

開催場所：仙台国際センター

開催日程：2019年7月19日～7月21日



第1回あずさ部ヤッホー評議会

渡辺 大輔

2017-18年度、第1回あずさ部ヤッホー評議会が、7月15日(土)13:00より松本市駅前会館にて開催されました。東京武蔵野多摩クラブからは板村会長、大輪副会長、山口会計、麻生書記、渡辺ユース事業主査が出席。全体の出席者は、議決権者39名を含む51名で4件の議案が審議されました。

- 1号議案 2016-17年度あずさ部会計決算案
 2号議案 2017-18年度あずさ部予算案
 3号議案 2017-18年度部会に関する件
 4号議案 2018-19年度以降部長・部会・評議会担当クラブ確認の件

1、2、3号議案は承認、4号議案は過去の評議会にて承認された事項だったので審議なし。3号議案に関しては2017年10月21日(土)日本出版クラブ会館(神楽坂上)、会費6,000円、ホスト東京西クラブと決まりました。

東京武蔵野多摩クラブの担当は、21-22年度部長(部会)、22-23年度5月評議会となります。その後、部長から第1回東日本区役員会の報告、各事業主査・クラブ会長の活動方針、監事講評があり、評議会は閉会となりました。その後、集合写真撮影後、懇親会を4グループで各事業主査を中心に歓談・ディスカッション(今、クラブで困っていること。あずさ部としての事業)にて盛り上がりました。

<西東京YMCA便り>

出沼 一弥

▼7月のプログラム報告

7/2	「あおぞら・つばさの会」7月例会	わくわくビレッジ	19名
7/9	「シャベルズ・いずみの会」7月例会	伊奈キャンプ村	15名
	中高生グループ活動「Teen S」7月例会	平和の森フィールドアスレチック	6名
7/22-24	山中ビレッジトーテムキャンプ(年中～小学4年生)山中湖キャンプ	引率 出沼	39名

▼8月の主な予定

8/2～4	ワイルドフラワーキャンプ	対象 発達障がい児	引率 出沼
8/3～5	わんぱくキッズ(日帰りプログラム)	対象 年少～小2	引率 廣瀬
8/10～13	あおぞら・つばさキャンプ/シャベルズかめの子キャンプ	対象 知的障がい児・者	引率 中里/廣瀬
8/17～21	尾瀬ネイチャーキャンプ	対象 小学生	引率 廣瀬
8/17～21	野尻ユースキャンプ	対象 中高生	引率 出沼
8/23～26	道志グリーンキャンプ	対象 年中～小学生	引率 出沼

▼リーダートレーニング

YMCAプログラムの特徴にボランティアリーダーの存在がありますが、ボランティアリーダーは、夏プログラム実施3か月前からミーティング(リーダー会)に参加をし、様々なトレーニングを受講します。理論として「YMCA理解」「グループワーク」「グループワークとリーダーの役割」「安全について」の講義を受け、2泊3日の実技トレーニング(6月開催)に参加します。実技トレーニングは、プログラムに必要な技術や指導法、安全確認の仕方、グループ運営の方法、自然の観察方法などを、山中湖センター、野尻キャンプ、道志の森キャンプ場の3つに別れて行いました。カヌー・ボート・カヤック・ヨットの操船方法を学んだり、薪を割り火おこして野外料理の方法を学んだり、昆虫などの観察方法、キャンプファイヤーやクラフト(工作)など、各キャンプに応じた技術を覚え、指導法、安全について学びました。プログラム実施前の様々な学びを受けたリーダーたちが、この夏、活躍をすることを楽しみにしています。

8～10月の予定

- 8月
 ・23日(水) 第二例会(西東京センター)
 ・26日(土) 東京YMCA夏祭り(東陽町)
 ※8月例会は原村例会のため変則的です。

- 9月
 ・8～10日 YVLF(山中湖センター)
 ・13日(水) 第一例会
 ・23日(木) チャリティーラン(木場公園)
 ・27日(水) 第二例会

- 10月
 ・1日(日) 西東京フェスティバル(高尾わくわくビレッジ)